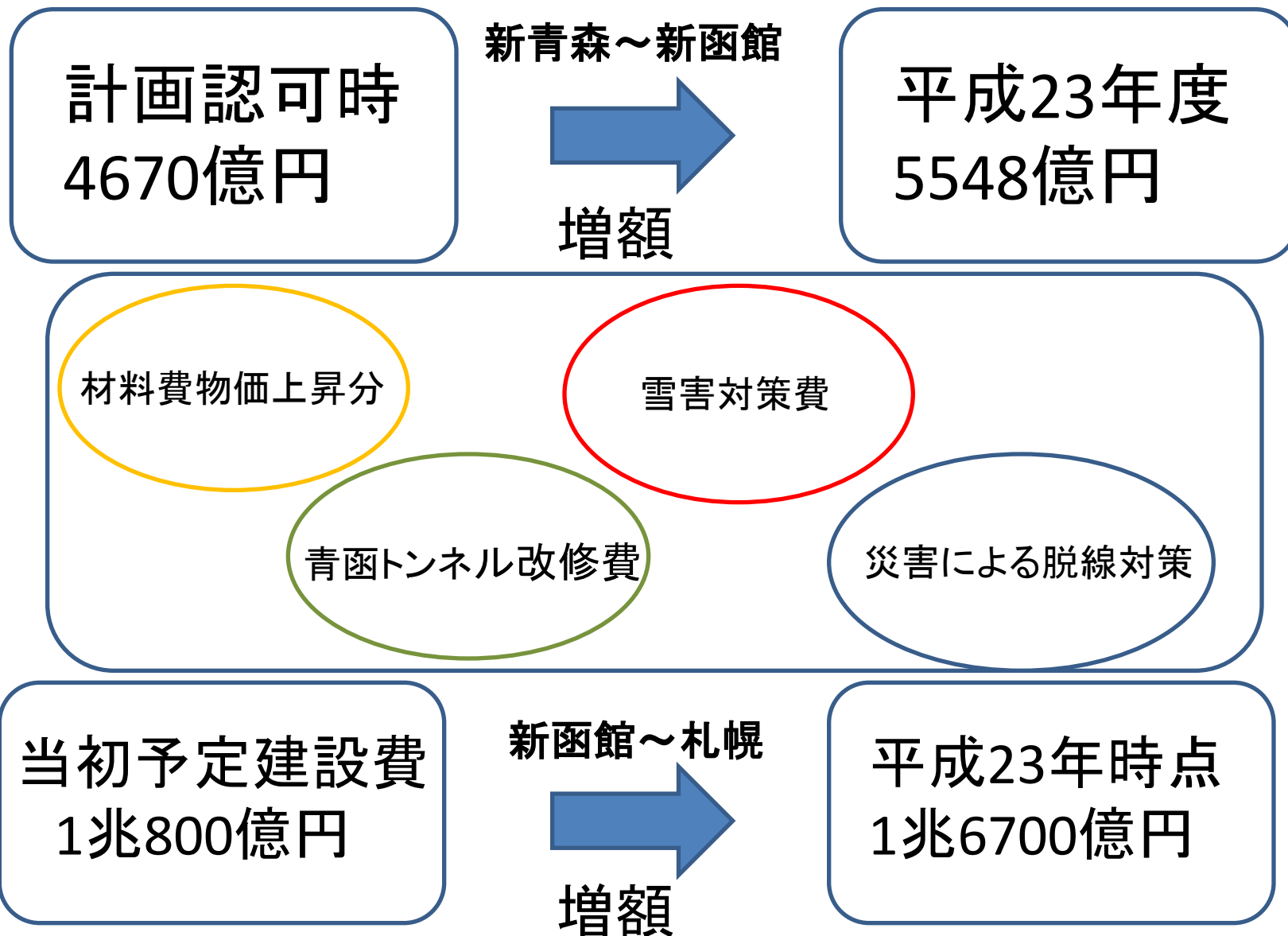


(2)財源問題

※建設費の構造

新幹線の建設費は、3分の2を国が負担、残りを地方（都道府県）が負担することになっている。地方負担分のうち、90%は地方債の発行が可能、さらにその半分は地方交付税が措置される。そのため、北海道の実質負担額は建設費の約18%になる。

国 負 担		地 方 負 担		
既設新幹線 譲渡収入 724億円/年	公共事業関 係費	地方債	90%	10%
		交付税措置 45%	地方負担 45%	一般 財源
全体の3分の2		全体の3分の1		



建設費増加の内訳

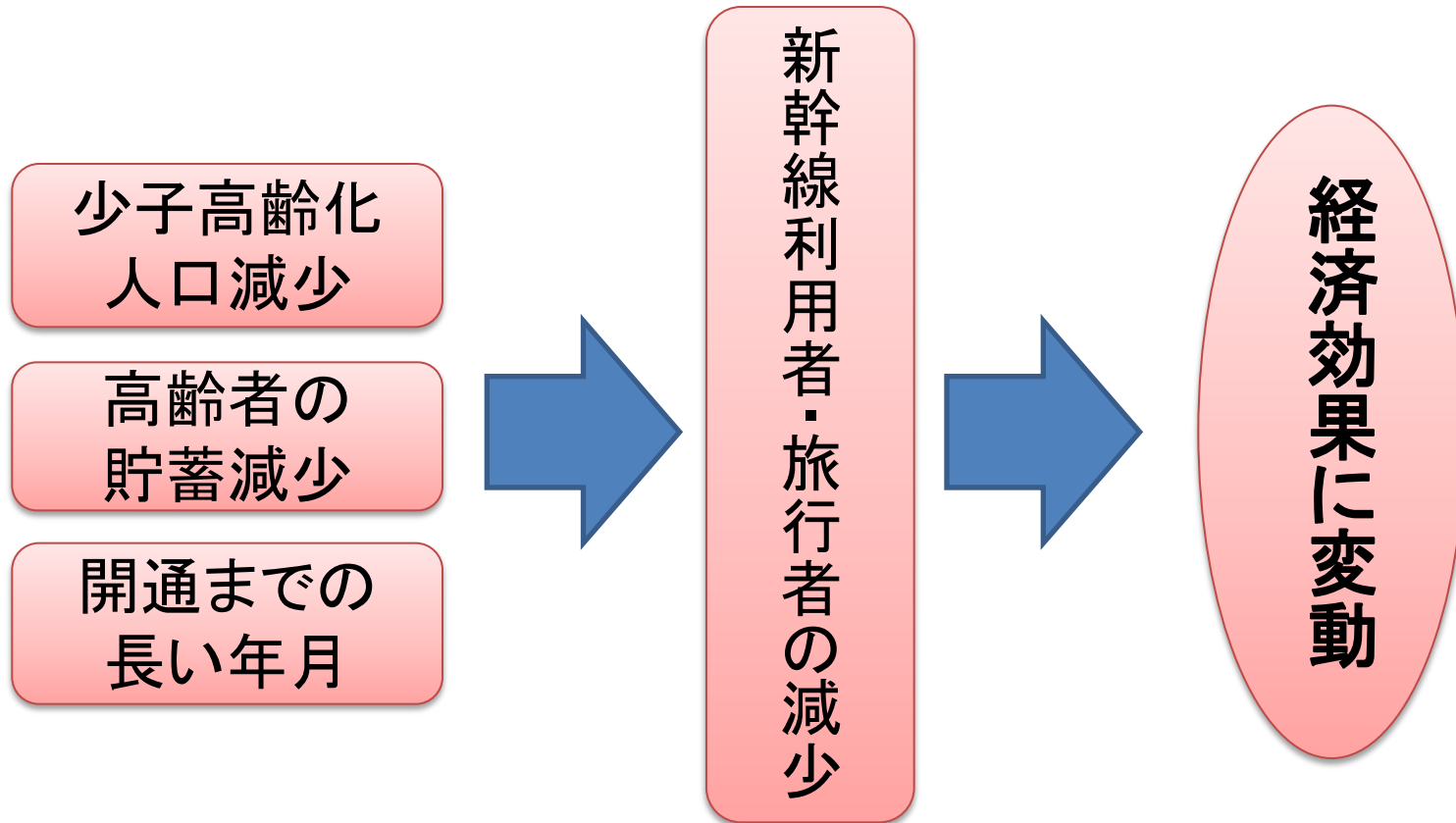
3.問題点

単位：億円

	新青森～新函館	新函館～札幌
材料費の物価上昇分	321	3167
青函トンネルの改修	280	—
雪害対策	187	1845
震災をふまえた脱線対策	47	464
その他	43	424
合計	878	5900

出典：国土交通省ホームページより筆者推計

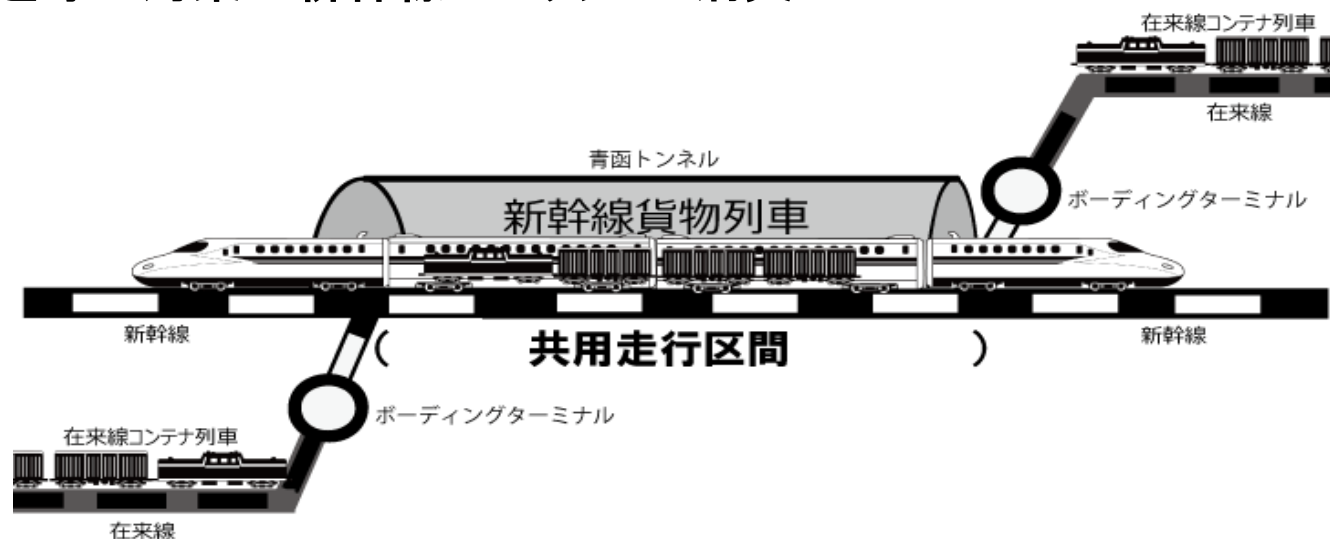
(3)利用者数



(1)トレイン・オン・トレインシステム

新青森～新函館(仮称)間、青函トンネルを含む供用区間82kmの
在来線貨物列車と新幹線のすれ違い、安全性の問題

- ・新しい線路を作るには費用がかかりすぎる
- ・減速等の対策は新幹線のメリットの消失



トレイン・オン・トレインシステムによるメリット

- ・新幹線貨物列車に在来貨物(コンテナ)列車を搭載
- ・安全レベルが向上、安定的ダイヤの確保
- ・青函トンネル内に新しく新幹線用レールを引く必要が無くなり
コストの削減につながる

(2)財源

- ・北海道新幹線開発投資に対する国民の理解

- 北海道新幹線の開発がもたらす経済効果、景気対策

- ・貸付料の期間の延長

- 機構から年間の貸付料が延長することにより財源増加する可能性が見込める

- ・貸付期間終了後の機構からJRへ新幹線施設の売却

- 法律で他の鉄道私鉄の譲渡価額の規定はあるが、新幹線についてはこの規定がない為可能性として考えられる。

(3)利用者増加のために

観光者数を増やすには...

- ◆PR活動の促進
- ◆少子高齢化対策
- ◆新幹線開通を意識したまちづくり
- ◆二次交通の充実

開業後の新たな需要発生による経済効果 (平成22年度データから試算)

単位: 億円

	生産誘発額	粗付加価値換算
直接効果	1684	917
1次生産誘発効果	773	434
2次生産誘発効果	582	375
合計	3039	1726

約2900兆円/年の
需要発生



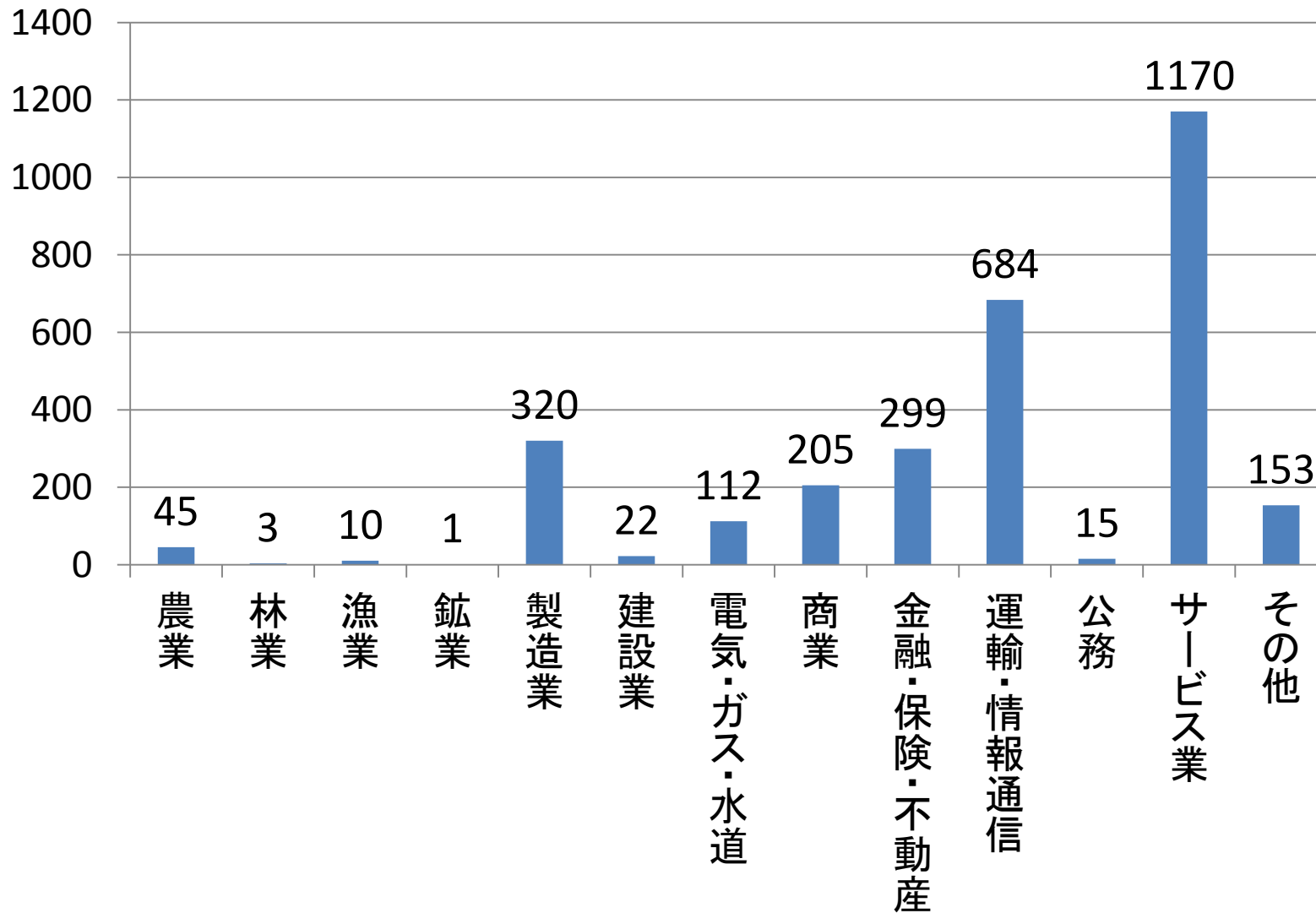
出典: 北海道開発局 2005年産業連関表より試算

生産誘発額 3039億円/年発生

北海道のGDPの1726億円/年に相当

(億円)

産業別の生産誘発額(1年間の効果)



出典:北海道開発局 2005年産業連関表より試算

(1)まとめ

少子高齢化、環境問題、景気問題といった未来の課題

新幹線の
建設により...

少子高齢化
→地域の繋がりを
強め、地域の
過疎化を防ぐ

環境問題
→CO2排出量は
飛行機の1/5, バス
の1/7, 車の1/8

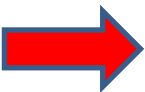
景気問題
→2900兆円の需要
増、生産誘発額3039
億円、北海道の
GDP1726億円増

諸問題への
対策

新幹線は北海道の未来の為の投資

今後の課題

- ・建設費の経済効果、費用対効果の試算

 建設によって発生する費用対効果の試算

- ・北海道新幹線の海外への影響

 輸出入への影響、海外からの観光客への影響

- ・北海道新幹線建設の技術面での課題

 トレインオントレイン等の技術面での課題

参考文献・資料

- 北海道ファンマガジン『北海道を学ぶ』(<http://pucchi.net/hokkaido/social/>)
- 札幌市ホームページ『北海道新幹線』(<http://www.city.sapporo.jp/shimin/shinkansen/>)
- 朝日新聞ホームページ(<http://www.asahi.com/>)
- 国土交通省 北海道開発局(<http://www.hkd.mlit.go.jp/>)
- 蒲生篤実『整備新幹線の未着工区間に係る取扱いについて』(2012年)
- 楠木行雄『整備新幹線財源の持続可能性に関する法制的問題点の検討』「運輸政策研究」(2012年)
- 佐々木雄一『北海道新幹線函館駅開業時の在来線乗継利用者数の推計に関する研究』北海道大学工学部ラボ (2011年)
- 竹内健蔵「交通経済学入門」 有斐閣(2008年)
- 北海道経済連合会『北海道新幹線札幌延伸に伴う効果と地域の課題』(2006年)
- 北海道旅客鉄道株式会社『青函トンネル区間における新幹線と貨物列車の共用走行について』(2012年)
- 北海道運輸交通研究センター『北海道新幹線「札幌駅」開業に関するアンケート調査報告書概要版』(2009年10月)
- 北海道庁 総合政策部新幹線・交通企画局『北海道新幹線』(2012年11月)
- 松永卓也『トレイン・オン・トレイン導入による北海道の鉄道貨物輸送体系の再構築に関する研究』 北海道大学工学部ラボ (2011年)